



教育目標  
 ○げんきな子  
 ○よくかんがえる子  
 ○なかよくする子

開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

# 11月園だより

令和6年10月29日  
 October, 29, 2024

園長 河合 晴美  
 Principal



伸びていく力をさらに..

園長 河合 晴美

先日の親子運動会は、90周年記念という特別な年に3学年で行うことができました。各学年の子どもたちの様々な姿をご覧いただき、感想をお寄せいただいているところです。当日までの日々は、暑さが続く日もあれば天候が不安定となる日もあり、校庭の様子を見ながら少しずつの時間の中で取組を積み重ねてきました。

5歳児さくら組は、最後の運動会に向けて力を出していくこと、友達と力を合わせていくことに取り組みました。そして、数人の友達とグループになり「爽涼鼓舞」の曲の中で自分たちの表現をつくりあげ、部分的に受け持つことを取り入れました。どのような表現にするのかイメージを決め、そのイメージに合った動きをどうするのか、考えを出し合いました。「電気」「水」「葉」「炎」というイメージに合うように自分たちで曲をかけ、互いに動きを見合いながら息を合わせていきました。雨が上がったところではじめてある日、いつもは書いてある立ち位置の印がありませんでした。曲が流れる中で担任が印がないことに気が付くと同時に子どもたちはいつもの感覚で自分の立ち位置を決め、隊形移動をすることができました。

4歳児ばら組は、「忍者」というイメージを共通にもつことで学級全体が一つにまとまる経験をしました。声を出しながら忍者の修行を行い、気持ちが高まるにつれ声が揃っていきました。一人ひとりがその時々で場面を考え動いていくよさがありました。

3歳児りんご組は、4歳児に忍術をかけられ霧の中から出てくると、自分たちの位置に進んで移動していく姿がありました。リズムを聞いて自分のペースで楽しんでいく姿も見られるようになりました。

どの学年も自分たちの競技、演技に取り組む中で、どのようにやるのかを自分の中に取り入れ、考え行なっていく姿になりました。そして、それが「楽しい」「またやってみたい」と思うことで意欲や自主的な動きにつながりました。

2学期の数週間の日々の中で、大きな変化、大きな成長が見られました。子どもたちの中にある「伸びていく力」のすばらしさ「取り込む力」のたくましさに、次にやってくる周年行事での成長に大きな期待を寄せています。



<90周年記念の種目>

